

外に此の性質又は理專會の沙羅と云ふ

賃銀でも普通とは何だ。昔から定められた出張旅費を何の目的で控減するのだ。傷害に對して見舞金とはイクラが見舞金だか判らんと思ふのだ親方ばかりで此回答文を決定して之が福利の増進を計る協調組合だぞーだ。

否！否！之は明らかに變則的組合だ。我々は最後迄協調組合で行きたいと思つたが。少しも眞實な協調をして呉れず。何一つの條項も定まらぬ瓢箪式回答を受け黙て居れば段々「ナメ」られ(來春)は又一圓内外の手間賃を拂はれるのだ。

我等の本當の望みは。一日働いた手間賃が定まる事

◎當然昔から拂つて呉れた、出張旅費や電車賃等「最近皆こみやる」から拂つて呉れと云ふ事

◎怪我をして唯見舞金では不安だから一體何程呉れるか定めて呉れと云ふ事

◎以上の事が定まれば(協調に依る)恩恵に浴するのだ

◎諸君此の望みに對して誰も無理と思ふまい。

協調を破られた。我々は自然(誠意)ない親方に頼る事を止めて。職人は職人ばかりが結束して相互に助け合ふ組合にしなければならぬ。之を對立組合と云ふ。

◎對立組合と協調組合の違つた處は協調組合だと親方と職人との間に問題があると之を兩方の組合で協議して種々情實關係や相互の言分を兩方の組合で定めるのである。其時も職工の方は遠慮勝ちに話をする事が多い對立だと職人と親方が問題を起した時(傷害にしろ)賃銀にしろ)正當と認める要望なれば。直ちに交渉委員が(當時者)親方に掛合つて組合員一同の結束の力で此解決を付けるのだから。正當の要望なれば決して親方に壓迫される様な事はない、一軒の内に永く働く人でも新しい人でも決して不正當な理由のもとに壓迫を受け、暗い氣持で我慢しくとも立派に技術職工らしく明るくさらされるのだ。

此の意味を間違はぬ様にして呉れ對立だと云ふて無闇に戦ふのばかりが目的ではない。總括して云ふと。不正當な壓迫には戦ふと云ふ事だ。又、年度の組合系體の變更も前述の如く。先方で協調を破つて來たから致し方なく。變更するのであるから誤解のない様にされたい。現在までの協調の結果を靜かに考へた時。弱者は團結して眞の生活を求め明るく正しく吾等の力で惡徳の親方を矯正してやらうではないか。

各員は支部の結束を益々強固にし我等の塗裝工組合を意義あらしめよ

十一月一日

東京市四谷區花園町百六番地

東京塗裝工組合本部

塗裝工組合員各位